

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科	1 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ジュエリー概論		授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリーに関する様々な知識を深め、業界や流通の仕組みを理解する。

ジュエリーコーディネーター検定 3 級合格を目指す。(試験は 3 月、8 月)

【授業計画】

1. ジュエリー概論	〈4 コマ〉
<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリーについて ・ジュエリーの歴史・成り立ち ・ジュエリーの価値、ジュエリー・アクセサリー商品について ・ジュエリー産業論 	
2. コスチュームジュエリーについて	〈3 コマ〉
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションにおけるアクセサリーの役割 	
3. 商品概論 商品の分類	〈2 コマ〉
<ul style="list-style-type: none"> ・商品の構成 ・使用目的による分類 ・購買習慣による分類 ・ライフサイクルによる分類 	
4. ジュエリー業界について	〈1 コマ〉
5. ジュエリーデザイナーの仕事について	〈1 コマ〉
6. エシカルジュエリーについて	ジュエリーにおけるSDGs 〈1 コマ〉
5. 流通の流れについて	〈2 コマ〉
<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリー販売について 	

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 ジュエリーコーディネーター検定 3 級 テキスト・ジュエリー用語辞典

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリーに関する様々な知識を深め、業界や流通の仕組みを理解する
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科 1年	単 位	1単位
科目コード	科目名 ジュエリー素材論	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリーで使用する各種素材の知識、理解を深める。
ジュエリーコーディネーター検定3級合格を目指す。

【授業計画】

1. 金属素材について <4コマ>
 - ・ 貴金属
 - 金、プラチナ、銀について
 - 地金相場について
 - 金属の企画と表示について
 - ・ その他の金属と特色について
 - ・ 使用上の注意、手入れ、保管方法
2. 宝石の基礎知識 <6コマ>
 - ・ カラーストーン
 - ・ ダイヤモンド
 - ・ 真珠
3. 金属表面加工 <1コマ>
 - ・ めっきについて
 - ・ はりについて
4. 金具・チェーンについて <1コマ>
5. 金属アレルギーについて <1コマ>

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
ジュエリー。アクセサリーで使用する素材知識を深め、理解し、活用するための授業
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード		科目名	ジュエリーデザイン I	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ジュエリーにおけるコンセプトメイキングと発想力の向上
- ・市場調査やリサーチを通してインプットの方法を学び、デザインワークやコンセプトメイキングの演習でアウトプット力の強化を行う

【授業計画】

- ジュエリーデザインとは <1コマ>
 - ・デザインにおけるリサーチの重要性について
 - ・デザインリサーチの方法について
- ジュエリー制作実技Ⅰ、コスチュームジュエリーにおける作品制作のためのデザイン方法 <7コマ>
 - ・テーマに沿ったデザインの考え方について
 - ・リサーチ、コンセプトメイキング、デザイン画と図面の作成を行う
- デザインワーク <6コマ>
 - 規定の中でのデザイン発想の方法を学ぶ
 - ・ペーパーワークによる面のデザイン発想
 - ・線の構成による立体的なデザイン発想
- 各種コンテストのためのデザインプランニングとデザイン画作成 <4コマ>
 - ・コンテストのためのデザインについて
 - ・ジュエリーコンテストデザイン画作成
 - ・学内コンテストデザインが作成 他
- デザイン演習 <10コマ>
 - ・商品的デザインと作品的デザインのそれぞれのアプローチ方法について学ぶ
 - ・市場のジュエリーデザインについてリサーチし、プレゼンテーション発表、講評会を行う
- ジュエリー作品の撮影について <1コマ>
 - ・就職活動に向けたポートフォリオのための作品撮影を行う
 - ・ジュエリーに適したライティング、バックパネル、レイアウトの説明
 - ・撮影演習

※時期、期間は、それぞれの課題のタイミングで、集中的に行う 合計29コマ

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッションジュエリーに関する知識と技術の習得。様々な素材の研究。
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1年	単 位	7単位
科目コード		科目名	ジュエリー制作実技 I	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー制作におけるワックスモデリング、金属加工の技法の習得
- ・ ジュエリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得
- ・ オリジナルでデザインしたものを作るための制作技術の習得

【授業計画】

1. 工具についての説明 <2コマ>
2. ワックスモデリングによる指輪(基礎)
 - ・ チューブワックスの扱い方 <19コマ>
 - ・ ヤスリ方、仕上げ方
 - ・ 銀の磨き、仕上げ方
 - ① 月型甲丸リング 9コマ
 - ② 甲丸リング 2コマ
 - ③ 平打ちリング 2コマ
 - ④ リングの研磨 6コマ
1. ワックスモデリングによる指輪(応用) <8コマ>
 - ・ ワックスリングのデザインについて
 - ・ 三面図の書き方の習得
 - ・ ワックス制作におけるヤスリの使い方の習得
3. 平打ちリング <8コマ>
 - ・ ヤスリ、バーナーの使い方の習得
 - ・ 銀の扱いについて、金属の加工法について習得
2. すり出しリング <10コマ>
 - ・ 平打ちリングからデザイン展開を行う
 - ・ 銀のヤスリ方、仕上げ法の習得
4. ロウ付け練習
 - ・ 演習を通してロウ付け技術を習得する <16コマ>
 - ・ ロウ材について知る
 - ① 基礎的なロウ付け演習 12コマ
 - ② アクセサリーパーツのロウ付け演習 4コマ
3. 面の構成 <10コマ>
 - ・ ペーパーワークからのデザインアプローチ
 - ・ 金属板による組み立てのデザイン
 - ・ 面のロウ付け方法の習得
 - ・ アクセサリー金具について
4. 線の構成 <16コマ>
 - ・ 金属線による組み立てのデザイン
 - ・ 線のロウ付け方法の習得
 - ・ チェーンの作り方について
5. カボションカット石の覆輪留めペンダント(基礎) <14コマ>
 - ・ 金属加工による石枠の制作方法と石留の方法について
 - ・ 石留め作品に適した金属研磨・仕上げ方法について

合計 103 コマ

【評価方法】 S～C・F評価	学業評価 80% 、 授業姿勢 20%
----------------	---------------------

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリー制作における金属加工技術の習得
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ジュエリー商品企画演習	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・商品デザイン研究(モチーフ)分析
- ・ジュエリー・アクセサリー商品取り扱い店舗における市場調査によるショップ研究、定点観測に基づく商品計画。

【授業計画】

- 商品ラインのデザインプランニング <1コマ>
 - ・商品と作品の違いについての理解
 - ・市場調査を踏まえたうえでの、売れるための商品デザインとは何か
- ポートフォリオについて <1コマ>
 - ポートフォリオの必要性 作成方法
- ジュエリー商品におけるモチーフ研究 <4コマ>
 - ・ジュエリーモチーフの歴史、意味、デザインについての研究(モチーフにおけるその意味とデザインの掘り下げ)
 - ・リサーチ、研究、掘り下げ
 - ・プレゼンテーション演習
- デザイナーの仕事について <2コマ>
 - 商品開発の流れとデザインのプロセス
 - リサーチをもとに、オリジナルデザインへ展開していく
- 仕様書の作成 <2コマ>
- プレゼンテーション演習 <2コマ>
- ワックス原型の制作 <3コマ>
 - ・各種ワックスの扱いの研究
 - ハード、ミディアム、ソフト、シート
 - ・ワックスモデリング
 - ・キャスト出し、ゴム型について

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
商品企画に必要なリサーチ及び、その検証。また、商品として求められる完成度等の技術の習得
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1年	単 位	4単位
科目コード		科目名	コスチュームジュエリー	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：大熊 舞
----------------	------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ コスチュームジュエリーに関する情報と一般知識の習得
- ・ アクセサリー制作における各種素材の研究と加工技術の習得。
- ・ コスチュームジュエリーにおける金属加工のための技法、及び技術の習得。各種素材との組み合わせ方

【授業計画】

- 切りまわし『透かし』の技法によるアクセサリーの制作 <6×2コマ>
 ◎糸ノコの扱いをマスターする
 アルミニウム板、銅板、真鍮板 →各素材の扱いについて
 糸ノコ作業による各種金属素材の違いを学習
 各素材の結合方法 →リベット、カシメ
 アイテム： リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット
- 樹脂作品 <10×2コマ>
 レジンの扱い
 原型制作、ゴム型制作
 レジンの流し、軟化、硬化
 アイテム： リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット
- アクセサリパーツについて <5×2コマ>
 パーツ表の作成
 パーツ組み 演習
 シャワーカンを使ったアクセサリ制作
 レシピ制作
- 素材研究 <9×2コマ>
 ビーズ、ガラス、プラスチック、アクリル、貝、木など金属以外の素材研究
 素材の特性と扱い方法、裁断方法、研磨、接着方法（接着剤について）
 アクセサリへの加工方法
 アイテム： リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッションジュエリーに関する知識と技術の習得。様々な素材の研究。
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科1年	単 位	2 単位
科目コード	950000	科目名	自由研究 I	授業期間	通 年

担当教員(代表)： 菊池 明子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。
通常授業以外の制作や、コンテスト参加、美術館見学などによる、各個人のレベルアップ。

【授業計画】

- ◆ 各種コンテスト参加
革コン、ザッカコンペティション、学内コンテスト、その他関連コンテスト
- ◆ 美術館、博物館見学
見学、感想レポート提出
- ◆ 就職活動準備
希望職種に合わせた就職活動準備をする
デザイン画、作品制作、ポートフォリオなど
- ◆ 個人のテーマによる作品制作やブランド研究

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】通常授業以外の制作や活動。

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科1年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 服飾造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：杉山 美和	共同担当者：
----------------	--------

概要

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルに関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツの基礎知識・縫製

前期1単位

(前期) 14コマ

・服飾造形の基礎 1コマ

服飾造形概説

採寸

文化式婦人原型

シルエット撮影

・シャツ 25コマ

・一般知識

・基礎縫い(ミシン・ロックミシン講習)

・作品制作

・レポート提出

・プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準：S.A.B.C.F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績(授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価)など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」を中心とした資料

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介

・Aパレルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名ハンディクラフト	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。

特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。

併せて、学習したテクニックをまとめ、ブックの形式で完成させる。

それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

【授業計画】

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習（4.5）
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得（2）
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習（2.5）
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習（2）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習（1.5）
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習（0.5）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作（1）

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習（1.5）
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習（1.5）
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習（1.5）
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的な
テクニックの実習（1.5）
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習（1.5）
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習（1.5）
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習（2.5）

イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメレース ひもを手で結び模様を表現するテクニックの実習 （2.5）

*一年間の技法を1冊のファイルにまとめる

- ・技法のまとめ（1）

【評価方法】 制作物の評価にブックの採点をプラス	
主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類
授業の特徴と担当教員紹介 ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidaリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施	
記載者氏名 白戸 薫	

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF1, GG1, GH1, GI1	科 名	帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード		科目名	造形演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：西村 碧	共同担当者：
---------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>ファッション工芸の各分野における専門性とは別に、すべての造形行為に通底する基礎的な能力を身につけ、デザインを行う上で必要となる想像力や思考力、基本的な造形力の習得を図ります。</p>

<p>【授業計画】授業では、さまざまなテーマ設定に沿って、「平面から立体へ」と向かう造形思考を、年間を通じて身につけていきます。各課題のテーマについて前提講義を行うとともに、制作実習と講評においては、個別的に指導・評価を行い、学生自身がみずからの手と眼で学び、思考する力を引き出します。造形全般に役立つ基礎を身につけ、専門各分野に応用できる柔軟性と造形感覚を育むことを目指します。</p>
--

テーマ	方法	コマ数
形態の動きと空間性の表現	平面構成における、幾何学的形態や抽象的形態のコンポジションと配色計画を実習を通して学ぶ。「動き」と「空間性」をテーマに、イメージを構想し具現化するための基礎的な技術と思考力を養う。	5
偶然性から見出す空間：形・色・イメージ	ドリッピング等の偶発的描画手法から生まれる有機的形態を抽出し、折る、重ねる等の方法により本の形態に綴じることで、形と空間を発見し展開する力を磨く。ページの穴開けや切り抜きなど複数の技法を組み合わせ、層状に折り重なる形・色・イメージの展開を模索する。	5
平面から立体への展開	平面から立体への展開の糸口として、ケント紙を用いた半立体的な造形物（レリーフ）を制作する。折る、重ねる、編む、曲げるなどの基本的な加工により多様な形態やテクスチャを生み出し、立体物がもつ空間性を把握する能力を培う。	5
表層のデザイン：素材の質感と構造的性	布、革、金属その他の素材の一つを選び、これらに種々の基本的な加工を施し、レリーフ状の作品を制作する。前課題で習得した形と空間の造形に、それぞれの素材の特質を活かした加工と構成を加えることで、質感と構造が織りなす表面（サーフェス）への意識を高める。	5
光との働きと表現	光の働きと、それが造形物に与える作用を理解するための構造物を制作する。光を多面的に捉え、物体との関係性を理解することで、光を表現に取り込む思考を身につける。	4
身体になじむ形	一年を通じて取り組んだ「平面から立体へ」の展開を軸に、マッス（塊）による造形を試みる。「手になじむこと」を基準に、パルサ角材を彫刻することで有機的な立体物を造形し、立体物と身体、光、空間との関係性を探求する。	5

<p>【評価方法】【評価方法】</p> <p>S～C・F 評価</p> <p>評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%</p> <p>制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。</p>

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design（平面・色彩・立体構成）1』（改訂新版）日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料	特になし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。</p>

記載者氏名	西村 碧
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを見る側に伝える為の基本描写能力と、創造力の元となる視点・気付きの習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を主に学ぶ。

【授業計画】

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な、幾何形体について学ぶ。
- 2、構造線の理解と描写①：先に力の流れ・形の方向性・構造線を学ぶ。
- 3、構造線の理解と描写②：その後、構造線とアウトラインによる立体描写。
- 4、小物のデッサン①（観察画）：ものの本質を捉える。
- 5、小物のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 6、帽子のデッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 7、帽子のデッサン②：
- 8、靴のデッサン①：靴（基本造形）の理解。
- 9、靴のデッサン②
- 10、自然物のデッサン（観察画）：ものの本質を捉える。
- 11、静物デッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 12、静物デッサン②
- 13、紙ヒコーキのデッサン：造形・質感・空間描写の習得。
- 14、バッグのデッサン①：バッグ（基本造形）の理解。
- 15、バッグのデッサン②
- 16、マネキン頭部のデッサン①（観察画）：ものの本質を捉える。
- 17、マネキン頭部のデッサン②：ものの立体構造をメインに捉える。
- 18、金属物のデッサン：立体造形と金属の質感描写力の習得。
- 19、チョーク画：明暗による立体把握。
- 20、花のデッサン：立体造形と生命感を捉える。
- 21、石膏トルソのデッサン①：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 22、石膏トルソのデッサン②
- 23、石膏トルソのデッサン③
- 24、硝子のデッサン（観察画）：ものの本質・構造・質感を捉える。
- 25、鳥剥製のデッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 26、鳥剥製のデッサン②
- 27、鳥剥製のデッサン③
- 28、静物デッサン①：造形・質感・空間描写の習得。
- 29、静物デッサン②
- 30、静物デッサン③

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 501210	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：玉川あかね

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します）
 基礎的なドローイングテクニック、アクリルガッシュを使用した彩色テクニックの習得を目標に指導。
 また、ファッショングッズをデザイン提案するためのデザイン画として、ファッショングッズ単体だけでなく衣服との着
 装、コーディネートを含めた表現力を育成。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・立体と構造／立体の面の捉え方、光と陰影について (0.5 コマ)

II・人体のプロポーション／8 頭身(正面・側面)の描き方、顔、手の描き方 (0.5 コマ)

III・ヌードポーズ／身体の動き、流れを理解する(支脚・遊脚の関係の理解) (2 コマ)
 ＊ベーシックポーズ(正面、斜め) ＊手・足・顔の描き方

IV・着装表現の基礎／着装表現のプロセスを学ぶ(ヌードポーズ→服のフォルム→構造、デザイン)(1 コマ)
 ＊ベーシックドレス

V・アウトライン／ドローイング線の描き方を練習 (グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆)(1 コマ)
 下絵から画用紙へのトレース方法

VI・ファッショングッズの描き方(基礎)／シューズ、帽子、バッグ、コスチュームジュエリーの描き方 (3 コマ)
 アクリルガッシュの彩色技法(厚塗り、グラデーション)

VII・ファッショングッズの描き方(応用)／アクセサリを身に着けた表現 (3 コマ)

VIII・ファッショングッズと着装表現／衣服とグッズの全身トータルコーディネート (4 コマ)

IX・造形練習／ダーツ、タック、プリーツ、ギャザー、フレア、ドレープなどの表現 (3 コマ)

X・素材表現／各種画材を使用したドローイング、彩色技法 (4 コマ)
 ＊薄地素材、厚地素材
 ＊レザー、ファー、フェザー、
 ＊透け感、光沢感など

XI・コンテスト／学内コンテスト服飾工芸部門に応募 (1 コマ)

XII・修了制作／創作デザインと表現力の強化 (5 コマ)
 ＊校内ファッション画展にむけての作品制作

評価方法・対象・比重

授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする

S～C・F 評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座⑤ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料 参考資料プリント

記載者氏名 玉川あかね

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード GG1	科 名 ジュエリーデザイン科1年	単 位	1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：三枝みさお	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。

色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. オリエンテーション (1コマ)〈講義〉

2. 色彩の体系 (3コマ)〈講義・演習〉

- ・色の分類方法
- ・色の三属性とトーン

[プリント演習]

[カラーチャート作成]

3. 色彩の識別 (2コマ)〈講義・演習〉

[課題作成：色相別コラージュ]

[プリント演習]

4. 色彩の心理 (2コマ)〈講義・演習〉

- ・色の三属性による感情効果
- ・色彩のイメージ

[プリント演習]

[プリント演習] または課題作成

5. 色彩の技術 (6コマ)〈講義・演習〉

- ・色相を基準にした配色
同一色相 類似色相 中差色相 対照色相 補色
- ・トーンを基準にした配色
同一トーン 類似トーン 対照トーン
- ・流行配色
トーン・オン・トーン トーン・イン・トーン
フォ・カマイユ トーナル
- ・カラーコーディネーションの提案
- ・色彩構成
シンメトリー アシンメトリー レピテーション
グラデーション アクセント セパレーション

[プリント演習]

[プリント演習]

[プリント演習]

[課題作成：カラーコーディネーション]

[プリント演習]

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

『ファッション色彩I』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員：文化服装学院専任教授

記載者書名欄 三枝みさお

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1・GF1・GG1・GH1・GI1 科目コード	科 名 グッズ4科 科目名 デザインプランニング演習	単 位 授業期間	1 単位 (後期)
-----------------------------------	-------------------------------	-------------	----------------

担当教員(代表)： 佐藤功人

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインに至るまでのプロセス・テーマの掘り下げ・コンセプトの固め方

企業・フリーランスデザイナーが行っている作業を実践すると共にプレゼンテーション能力を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

昨年まではジュエリー科のみの講義で外部企業を招きコラボレーションを行うまでになりました。

今期は4科が合併して初の講義ですので

それぞれの科の特性を活かした企画からプレゼンテーションが出来るよう努めたいと思います。

タイミングが合えばそれぞれの科に向けた産学共同プログラムに繋げる事が出来れば良いと思っています。

通り一辺倒な講義は潮流を見失う事にも繋がる恐れがあるため、初回から3回目(計3コマ)の講義の中で、本年度の生徒の個性を掴み柔軟な講義を進めたいと考えております。

【評価方法】

実践型で創る⇒伝える(プレゼンテーション)を実施。総合的に判断しコメントによる評価する。

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 講師が外部委託業務で行ってきた資料

授業の特徴と担当教員紹介

普段からファッションに対しての感力度を上げる。自己実現に向けた0⇒1企画に対して柔軟な脳を機能させる。

教員プロフィール

COMME des GARCONS・NICE CLAUP・beige shop/RYUICHIROSHIMAZAKI アパレル3社を経て独立、PB

【 norihito sato 】 を中心に外部業務委託デザイナーを請負う。

メンズ/レディースアパレルブランド・MIZUNO/DESCENTE 等スポーツブランド・ユニフォーム業界と幅広く精通。

様々な販売形態にも対応 百貨店アパレル・GMS・SPA・通販カタログ・TVショッピング等。

2018年3月に公表された 陸上自衛隊 常装制服改正や企業ユニフォーム等に携わる。

2019年OHRAI(プライベートブランド)商標登録

デザイナー業+マーチャライジングのキャリアを活かしプロダクトアウトの為の

マーケットイン発想と共に絵を載せるに相応しい『魂』宿る商品開発に従事。様々な企業間コラボレーションを実施。

記載者氏名 佐藤功人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GG1	科名 ジュエリーデザイン科1年	単 位	1単位
科目コード 200600	科目名 染色演習	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）： 板橋 美紗子	共同担当者： 増田 美砂希
------------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。

さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・ 授業内容について
・ 主な染料の種類と特徴
・ 染料と繊維の染色適合性
・ 染料と繊維の結合と染色過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色
・ 羊毛の性質
・ 酸性染料の特徴
・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作
・ 羊毛の縮絨性
・ 羊毛のフェルト制作方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 4. 型紙捺染
・ 型紙捺染の仕組み
・ 捺染の種類と版式
・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・ 特殊プリント加工
・ 図案構成と型紙制作
・ 印捺と仕上げ方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 5. スクリーンプリント
・ スクリーンプリントの仕組み
・ 量産プリントの版式と生産工程
・ 図案構成と製版
・ 印捺と仕上げ方法
・ スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | (4コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

S～C・F評価（学業評価 70%、授業姿勢 30%）

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を主体に、その他加工法も含め実習する
担当教員紹介 板橋 美紗子：明星大学日本文化学部生活芸術学科テキスタイル専攻卒業 文化服装学院非常勤講師
増田 美砂希：文化服装学院卒業。文化服装学院勤務、助手

記載者氏名 板橋 美紗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ファッションビジネス概論	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (1 コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2 コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3 コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950 年ー1970 年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980 年ー現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3 コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3 コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1 コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書、WWDなど

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 Photoshop の基本操作を習得し、画像の切り抜き・合成ができるようになる。Illustrator 初心者を対象に、ソフトの基本操作を習得し、ペンツールの描画方法、連続柄の作成方法、回転・反転ツール等の操作を身につける。

【授業計画】 1. Photoshop の基本操作：講義・実習 4 コマ ①移動ツールの使い方 ②ブラシツールの使い方 ③レイヤーの使用法 ④選択範囲とブラシツール 2. 画像合成・T シャツグラフィックの作成：講義・実習 3 コマ ①レイヤーマスクの使い方 ②画像合成 ③T シャツグラフィック作成 3. デザイン画への着彩方法：講義・実習 5 コマ ①下絵の修正 ②選択範囲の作成方法 ③色調補正によるカラーバリエーション 4. Illustrator の基本操作：講義・実習 1 コマ ①基本操作とメニュー ②色の設定方法 ③基本図形の描画方法 5. ペンツールの描画方法：講義・実習 講義・実習 4 コマ ①直線 ②曲線 ③直線と曲線 ④オープンパスとクローズパス 6. 写真のトレース方法：講義・実習 3 コマ ①写真のスキニング ②写真の配置 ③トレース 7. 回転・反転ツールの使い方：講義・実習 2 コマ ①回転ツールの使い方 ②反転ツールの使い方 ③左右対称図形の描き方 8. 連続柄作成方法：講義・実習 4 コマ ①スウォッチの作成方法 ②ストライプ ③水玉 ④スカーフデザイン
--

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際に PC を操作しながらグラフィックのソフトの使用法を身につける授業です。担当教員は、テキスタイルへのデジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広い PC スキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ジュエリー・バッグ・シューズデザイン科1 学年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	キャリア開発	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：杉本直鴻	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方 (企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方)	講義	1
2. 言葉遣い (正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話)	講義・実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析① <学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析② <性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人・オンライン (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
10. 面接・集団・オンライン (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで (内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解、その他)	講義	1

【評価方法】

出欠席、受講態度、実習 (面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書 「就職対策 第2024年度版」
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

机上の知識だけでなく、将来について(今後の自分自身のキャリア)を実習・実践を交えて学ぶことができる

記載者氏名 杉本直鴻

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI1	科 名	シューズデザイン科 1年	単 位	1 単位
科目コード	980010	科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

・ お金について.....	講義	1コマ
・ 流行色解説.....	講義	1コマ
・ ファッショングッズ業界とは（業界の仕組みと業種、その仕事について）.....	講義	1コマ
・ 日本の生活文化（風呂敷）について.....	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作①（就職活動に向けた作品集の作り方）.....	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作②（カメラワーク）.....	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作③（PCによる制作実習）.....	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作④（プレゼン、講評）.....	講義・実習	2コマ
・ デザイナーの仕事について.....	講義	1コマ
・ 皮革について（皮革の種類や革が出来上がるまで）.....	講義	2コマ
・ 服装解剖学.....	講義	2コマ
・ ジュエリー業界の仕事.....	講義	1コマ

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG1	科 名	ジュエリーデザイン科 1年	単 位	1 単位
科目コード	945010	科目名	インターンシップ I (自由選択)	授業期間	通年 (自由選択)

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

ジュエリー業界の企業

1週間～2週間(受け入れ先企業により異なる)

○研修内容

実務作業補助 (デザイン、製作、営業、生産管理など)

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 履修認定 : P表示 評価基準 : 出欠、研修報告書

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : 宝飾、アクセサリ業界の様々な職種の就業体験

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード		科目名	ジュエリーデザイン II	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリーにおけるデザインワーク、コンセプトプランニングの演習により、インプット力、アウトプット力の強化
- ・ デザイン発想力の向上
- ・ プレゼンテーション力の強化

【授業計画】

1. 立体把握力の強化 〈2コマ〉
三面図から立体を考える
2. ジュエリー制作実技における作品のためのデザインプランニング 〈8コマ〉
コンセプトメイキング、テーマ設定、リサーチなどのデザインワーク
3. 各種コンテスト デザインワーク プランニング 〈6コマ〉
 - ・ YKK ファスニングアワード
 - ・ SUWA アンカットダイヤモンドデザインコンテスト
 - ・ ジュエリーコンテスト
 - ・ 学内コンテスト
 - 他
「コンテスト」のためのデザインとは、アプローチの方法など
4. デザインワーク 〈6コマ〉
テーマ・コンセプトプランニング

設定テーマに基づいた、プランニングの演習
5. ジュエリーリサーチ・ジュエリーデザイン演習 〈6コマ〉
 - ・ 市場調査：高級店舗、低価格店舗、人気店舗、注目店舗の調査と比較検証
 - ・ 市場調査：定点観測
 - ・ 市場調査を踏まえたうえでの、売れるための商品デザインとは何か
 - ・ デザイン、図面作成

時期、期間は、それぞれの課題のタイミングで、集中的に行う

【評価方法】	S～C・F評価	学業評価 80% 、 授業姿勢 20%
--------	---------	---------------------

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
ジュエリー制作における金属加工技術の習得
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ジュエリーデザイン科 2 年	単 位	6単位
科目コード	科目名 オーダーメイドジュエリー	授業期間	(通年)

担当教員(代表):筋野 久之	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生の自由な発想を時代の流れに融合し制作の完成度を追求、社会の変化に柔軟に対応する事を目標とする。

【授業計画】

ジュエリーリフォーム・リペア・リメイク・石留など基本的に必要な知識、石留に必要最低限な工具の制作、石を使ったオリジナルジュエリーの制作、卒業制作に取り組む

- 石留に必要最低限な工具の制作・・・5×2コマ ・講義、実習
タガネ・金属などを叩く為の金槌・木材ブロック・ヤスリの枝部分・爪倒し用ハンドピース・石留めヤットコ・赤タガネ平2本
- 商品として販売できる品物・・・ 11×2コマ ・実習 、作品制作
原価×(●倍)利益などを考えた商品作り(ゴム型量産) 石付orギミック
- 石留に必要最低限な工具による石枠を使った装身具の制作4点・・・7×2コマ ・講義、実習
 - エメラルドカット爪留め
 - ペアシェイプカット爪伏せ込み ピアス、チャームなどにして制作。
 - ハートカット伏せ込み
 - 立爪6本爪留め
- ジュエリーリフォーム・リペア・リメイク・必要な知識・・・2コマ ・講義、実習
石の状態カケ・亀裂チェック・貴金属の種類などを細かく記載してミスを防ぐ。
- サイズ直しテクニック「アップ・ダウン」・・・5×2コマ ・講義、実習
平打ちリングを各自で制作しサイズ直しの基本的な行程を学ぶ

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	
授業の特徴と担当教員紹介 文化服装学院工芸科卒業後、シルバー、ジュエリー加工職人として勤務。その後、伊勢丹新宿店リペア・リフォームジュエリーの加工を担当する。2011年株式会社 Suzy を立ち上げ、ジュエリーリフォーム、デザイン、ブライダルジュエリー、ジュエリー教室等の会社の代表取締役となる。様々な経験から、職人、現在のジュエリー業界、経営に関する知識やスキルが豊富で、即戦力となれる人材育成に力を入れている。	

記載者氏名 筋野 久之

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	5単位
科目コード		科目名	ジュエリー制作技術 II	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー制作におけるワックス素材の扱いと基礎的技法の習得。
- ・ ジュエリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。
- ・ ジュエリーにおける金属加工のための技法、及び技術の習得。

【授業計画】

- ジュエリー制作における、道具を作る 〈3×2コマ〉
 - ・ おたふく鍔の柄の加工、頭の挿げ
 - ・ 唐紙鍔の柄の加工、頭の挿げ
 - ・ 唐紙鍔の頭の研磨
- 金属加工技術 鍛金基礎 半球体の制作 〈2×2コマ〉
 - 当て金と金鍔の扱い方
 - 金属の絞り方
- 鍛金的アプローチによるジュエリー 覆輪留め応用 〈15×2コマ〉
 - ・ 金属加工技術 鍛金 基本演習 半球
 - 当て金の種類と、金鍔の当て方
 - デザインに合ったテクニックの選択
 - ・ 金属加工(展延性)
 - ・ デザインに合わせた工具の使い分け
 - アイテム： フリーアイテム
(リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット)
 - ポートフォリオ作成
- 商品として販売できる品物(シャッフル作品) 〈5×2コマ〉
 - デザイナー、職人相互の仕事を理解し実践力を養う
 - 〈商品制作演習と連動〉
- 卒業制作 〈10×2コマ〉
 - 〈卒業研究・創作と連動〉

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
ジュエリー制作における金属加工技術の習得
本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ジュエリー商品企画演習	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ジュエリー・アクセサリ商品取り扱い店舗における市場調査によるショップ研究、定点観測に基づく商品計画。

【授業計画】

- 市場調査 〈2コマ〉
 市場調査の必要性、方法
 ブランド研究

 ジュエリー市場調査 高級店舗・低価格店舗・繁盛店舗・注目店舗 調査と分析
 新宿 伊勢丹リサーチ 〈HW〉

 調査対象紹介 プレゼンテーション 〈1コマ〉
- 設定テーマに合わせた商品企画 演習 〈5コマ〉
 ・商品デザイン(コマーシャルジュエリー)
 ・企画とそのプロセスの重要性
- 文化祭で販売するバザー商品について 〈3コマ〉
 その目的と、ターゲットの設定
 「よせ」による商品デザイン
 1人2点
 アイテム: ブローチ、ネックレス
 材料費 1500 円以内 (ツメ、銀ロウ、アクセサリパーツ、メッキ代含む)
 企画指示書の作成
 デザインに合わせた必要材料の産出、販売価格の設定
 バザー作品制作は、メタルワーク授業にて行う (ジュエリーデザイン、メタルワークと連動)
- シャッフル課題 〈3コマ〉
 デザイナーの仕事 企画
 企画指示書の作成
 材料の調達
 職人(制作者)へのプレゼンテーションのための準備
- プレゼンテーション (課題ごと) 〈3コマ〉
 他者への伝え方とその重要性

【評価方法】 S～C・F 評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

商品企画に必要なリサーチ及び、その検証。また、商品として求められる完成度等の技術の習得
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ジュエリー商品制作演習	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ 学生の自由な発想を時代の流れと融合させ、時代の変化に対応できる力を身に付ける
- ・ デザイナーの仕事、職人の仕事に対する理解を深める

【授業計画】

- 商品として販売できる品物 <1コマ>
《シャッフル課題》 デザイナーと制作者の仕事の分割

 デザイナーの仕事を理解し、実践力を養う <4コマ>
 - ・ デザイン
 - ・ 素材のセレクト、手配
 - ・ 的確な指示書の作成
 - ・ コミュニケーションによる明確な意図の伝え方について学ぶ
 職人の仕事を理解する <8コマ>
 - ・ コミュニケーションによりデザイン意図を汲み取り、正確な仕事へと導く
 - ・ 無駄のない地金取り
 - ・ 実用性、装着性を考えた制作工程
 - ・ 完成度を上げていく
 制作は、<ジュエリー制作演習Ⅱと連動>

 プレゼンテーション・講評会 <2コマ>

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
 ジュエリー制作における金属加工技術の習得
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	4単位
科目コード		科目名	コスチュームジュエリー	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ コスチュームジュエリーに関する情報と一般知識の習得
- ・ アクセサリー制作における各種素材の研究と加工技術の習得。

【授業計画】

1. 七宝基礎	〈4×2コマ〉
七宝について	
七宝の歴史	
釉薬について	
メタル釉を使った「ボタン」の制作	
胎作り、施釉、植線、焼成、研ぎ、仕上げ	
2. 七宝応用	〈8×2コマ〉
有線七宝（クロイゾネ）技法の習得	
七宝の胎（金属）の加工	
有線七宝を焼成し、金属と組み合わせてコスチュームアクセサリーの制作	
色の構成力の学習	
金属や異素材との組み合わせによる表現の拡大をはかる	
素材の特性と扱い方法、接着方法	
アクセサリーへの加工方法	
アイテム： リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット	
3. 皮革×金属	〈6×2コマ〉
ピッグスキンを使用	
皮革の扱い方、裁断、接着方法	
皮革と金属との組み合わせ方	
3. 素材研究	〈7×2コマ〉
さまざまな素材についての知識と加工方法 基礎	
各種素材加工における機具、工具の扱い方	
・ プラスチック素材	
・ ガラス、セラミック	
・ 木、貝	
工場見学	
・ 金属プレスによるアクセサリーパーツ制作現場の見学	〈1×2コマ〉
・ アクリル加工工場 アクリルの加工、裁断、レーザー加工など	現場見学 〈1×2コマ〉
・ プレゼンテーション	〈1×2コマ〉

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッションジュエリーに関する知識と技術の習得。様々な素材の研究。
 本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	メタルワーク	授業期間	(前期・後期)

担当教員(代表) : 高橋 正明	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションと親和性の高いカットティングクリスタルガラスを使ったコスチュームジュエリーをデザイン、製作するための知識と基礎的な「よせもの」技術を、座学と実技により指導。
ファッショングッズ分野においても活用できる、デザイン企画やデザイン手法を習得。また、製作現場とのコミュニケーションを図る事が出来る程度の、基礎的知識と技術の体得。

【授業計画】 1 日2コマの授業の中で、座学と実技を行う。 計30コマ

【座学】

□パワーポイントを使用し、実際の作品に触れながらの講義

- DAY1 「よせもの」について
- DAY2 「ろう付け」について | マルカン、Cカンの使い方
- DAY3 「よせもの」の歴史について | 「よせもの」の可能性について
- DAY4 コスチュームジュエリー製作の現場 | ブランド運営について
- DAY5 ブランド資料の作り方 | ハンダ付けについて
- DAY6 ダイヤレーンワークについて | メッキについて
- DAY7 前期作品展示と発表
- DAY8 ジュエリーアイテムによるパーツの知識
- DAY9 曲げ型について
- DAY10 立体的湾曲デザインについて
- DAY11 後期テーマ課題提出について
- DAY12 多段構造について
- DAY13 職能について
- DAY14 商品の見積方法について

【実技】

□「よせもの」技術の習得 23コマ

「よせ」、「ろう付け」、「磨き」、「石留め」、「メッキ」工程を経て製品になるまでを体験する

- ・ 単純カン付けパーツ
- ・ 基礎的なデザイン -円、星
- ・ 基礎的なデザイン -規則正しい放射状、決まった寸法の中でのモザイク
- ・ 立体的湾曲デザイン -放射状またはモザイク
- ・ 文化祭バザー商品のフリーデザイン
- ・ テーマ課題に沿ったフリーデザイン

□「ハンダ付け」の技術を学ぶ 4コマ

- ・ イヤリング金具、ピアス金具のハンダ付け
- ・ 2連ダイヤレーンネックレスの製作

□「見積」実習 1コマ

- ・ 製作した作品を販売する場合の価格の根拠を決める

【発表】

□作品展示とプレゼンテーション、および、講評 2コマ

- ・ 前期最終日、および、後期最終日

【評価方法】

制作物、プレゼン力 : 制作姿勢、学習態度 : 出欠率
6 : 3 : 1

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

コスチュームジュエリー製造メーカー(有)アトリエ・エイトの代表取締役。「よせもの」技術を得意とし、ティアラや舞台衣装製作にも精通する。自社ブランド[MASAKI TAKAHASHI]の経験から、デザイナー、職人、経営者からの目線の授業が特徴。

記載者氏名 高橋 正明

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード	501100	科目名	レンダリング	授業期間	通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリーの基本表現の習得、個々の特性を引き出す可能性を様々な角度から創作デザイン考案、創作企画力や就職活動に活用できるオリジナル作品集等、デザインワーク強化を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ジュエリーデザインの基本表現の習得] (6.5 コマ)

- 基本習得①カット石の表現…ラウンド、オーバル、マークス、ペアシェイプ、エメラルドの角等他及びカット石の彩色表現
- 基本習得②リング表現 …上面・正面・側面の3方向図と立体図の基本、石付き等デザインリング表現
- 基本習得③ペンダント表現 …正面図、側面図、バチカンやチェーンを通す位置の留意点、パール素材を用いての表現

[創作デザイン及び企画構成]

…テーマにあった発想のキーワードの資料収集と探求、オリジナルデザイン表現の企画構成作成

- フォルムとかかわる素材研究 …異素材を組合せてのコラボレーションデザイン (4 コマ)
- モチーフデザイン …生物を主としてリサーチからのデザイン展開 (4 コマ)
- ネックレス構成デザイン …一型からの連続デザインのネックレス表現 (3 コマ)
- オリジナルデザイン図形態ジュエリー20点
…各自テーマ・資料をリサーチし、企画書形態でデザイン20点をまとめる (5 コマ)
- コンテスト応募作品 (4.5 コマ)

[中間と期末試験] (2 コマ)

- 中間と期末にてジュエリーデザイン画試験

【評価方法】[S～C・F評価]

評価基準：学業評価80% (課題作品提出物と試験)、授業姿勢20% (出欠状況, 授業態度を考慮)

主要教材図書

参考図書 : ジュエリー技法講座2 「ジュエリーデザイン画を描く」美術出版社

その他資料 : その他資料：ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…オリジナル作品の効果的な構成習得。ジュエリーワークの基本からデザイン展開を的確に習得し、活用できる企画デザイン力。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師にて勤務。その後ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

科コード	科 名 ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ジュエリーCAD I	授業期間	通年

担当教員(代表)：雨宮 宏晃	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー業界における CAD の有用性を伝え、3D の基本知識を教えつつ一年間でソフトの基本操作を習得。さらに現場での仕事を想定し、基本形状の演習を繰り返す事で立体の把握能力を養う。

【授業計画】

- ・ジュエリー業界における CAD の重要性・ソフトについての説明 講義 1コマ
- ・基本コマンド解説 講義 12コマ
- ・問題演習 実習 12コマ
- ・オリジナルデザイン起こしからのデータ作成 実習 4コマ

【評価方法】

出席20% 学業評価50% 授業姿勢30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 独自のテキスト

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：現役の CAD オペレーター OEM・自社ブランドの展開をしており CAD 以外での経験を講義できる

担当教員紹介：文化服装学院工芸科卒 卒業後ジュエリーの会社に加工職人として勤務、途中ジュエリーCAD を扱う会社に転職し8年勤務 CAD だけでなくジュエリー全体の実務を伝えられるよう目指す

記載者氏名 雨宮 宏晃

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着色ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】 1. ポートフォリオ修正 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①整列機能の使い方 ②文字ツール ③ポートフォリオのブラッシュアップ 2. ペンツールの使い方 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①直線の描き方 ②曲線の描き方 ③線の修正 3. デザインバリエーションの作成 (Illustrator) : 講義・実習 4 コマ ①ライブペイントの使い方 ②トレース ③デザインバリエーションの作成 4. デザイン画の着色方法 (Photoshop) : 講義・実習 4 コマ ①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方 ④連続柄のいれ方 5. エクセルの基本 1 コマ ①表の作成 ②オートフィル ③計算式の使い方 6. プレゼンテーション : 講義・実習 4 コマ ①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成 ④プレゼンテーション 7. Photoshop の動画編集 : 講義・実習 2 コマ ①動画のカット、移動、サイズ変更 ②文字や写真の追加方法 ③レンダリング 8. モノグラムデザイン (Illustrator) : 実習 4 コマ ①水玉・ストライプ ②オリジナルスウォッチの作成
--

【評価方法】 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024/Microsoft Excel2019/Power Point2019

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際に PC を操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルテキスタイルデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広い PC スキルを身に付けられる授業を目指しています。
--

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1 コマ) . . . 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1 コマ) . . . 講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (5 コマ) . . . 講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7 コマ) . . . 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF2, GG2, GH2, GI2 科目コード	科 名 帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、 バッグデザイン科、シューズデザイン科 2年 科目名 造形デザイン	単 位	1単位
		授業期間	(前期)

担当教員(代表)：西村 碧	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
ファッション工芸の各専門分野に活かすことのできる、立体造形能力のさらなる向上を図り、デザインの思考と展開の方法の拡張を目指します。造形行為によりみずからの構想を形にし、モノと空間性への理解を深めることで、各専門分野に通底する総合的な造形感覚の習得を目指します。

【授業計画】授業は立体造形の制作が中心になります。実習では、制作に関わる方法論や造形面の助言を行いながら、造形ならびに空間性を理解する能力の拡張と、柔軟な思考力の習得を図ります。また、造形物そのものの評価とは別に、各自のプレゼンテーション・講評等を通じ、作品の意図を論理的に思考し、説明する能力を身につけることを目指します。

テーマ	方法	コマ数
線・面の構造を用いた空間表現	「モノ」、「空間」を構成する基本要素である、線・面の概念を用い、角材を素材とした立体構成を行う。立体的な思考力と造形力、空間把握の能力を身につける。	5
変容する素材による立体造形	軽金属の素材特性を活かした加工と構成を検討し、内的・外的空間性を包含した立体物を構成する。空間および立体を形成する諸要素の関係を把握し、表現に活かす能力を育む。	5
実空間への展開	身体的スケールに基づき、段ボールを用いて何らかの機能を果たす立体物を造形する。立体物が持つ構造性とモノが空間にもたらす効果、「場」の意識への理解を深める。	5

【評価方法】【評価方法】
S～C・F 評価
評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%
制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design (平面・色彩・立体構成) 1』(改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料	特になし

授業の特徴と担当教員紹介
制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。

記載者氏名 西村 碧

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッションテキスタイル科 1 年・ファッション工芸各科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	西洋服装史	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 原田 弘美	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服の起源を始めとし、古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。過去の衣服と現代ファッションとの関連性にも着目しながら学び、得た知識をあらゆるデザイン分野に活かせることを目標とします。

【授業計画】

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)、映像資料(DVD)使用

- 服飾の起源 (1コマ) 授業概要、衣服の起源、服飾博物館展覧会解説
- 古代の服飾 (1コマ) 古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾
- 中世の服飾 (1コマ) ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾
※博物館見学レポート提出
- 近世の服飾 (2コマ) ルネサンス、バロック、ロココの服飾
- 近代の服飾 (2コマ) 第一帝政、王政復古、第二帝政、第三共和制時代の服飾
アール・ヌーボーの服飾
- 現代の服飾[1] (4コマ) 20 世紀初頭、アール・デコの服飾
1930 年代～1950 年代のファッション
- 現代の服飾[2] (2コマ) オートクチュールからプレタポルテへ
1960 年代～2000 年代のファッション
まとめ

【評価方法】

S～C・F 評価 学業評価…85% 授業姿勢…15% ※左記を目安に総合的に評価します

主要教材図書

「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 ⑪ 改訂版・西洋服装史」

参考図書 項目により紹介します

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：実物資料や、画像、映像資料などを盛り込み、幅広く西洋服飾の歴史を学ぶ授業。

教員紹介：1994 年より文化服装学院非常勤講師。他に「染織文化論Ⅱ」を担当。

記載者氏名 原田弘美

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション工芸各科	単 位	単位
科目コード	科目名 現代ファッション論	授業期間	前期 単位

担当教員(代表)：関谷麻美

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現代において国際的に流通している“ラグジュアリーブランド”は、流行を牽引するだけでなく、全世代の強い憧れの的でもある。それらには長い歴史があり、時代の流れを読みながら発展してきたブランドがほとんどだ。さらに 21 世紀に向けて環境問題と向き合い、“サステナブルファッション”を提案するブランドも数多い。この講座では著名なラグジュアリーブランドの成り立ちと現在の動向、そして未来への展望を掘り下げる。

内容	方法	コマ
「イントロダクション」現代のラグジュアリーブランドとは？ + 全 14 回の講義の流れ	講義	1
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり①＝シャネル」	講義	2
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり②＝ディオール、サンローラン」	講義	3
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり③エルメスとルイ・ヴィトン」	講義	4
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ①」	講義	5
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ②」	講義	6
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転①」	講義	7
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転②」	講義	8
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60 年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転③」	講義	9
「イギリス・ロンドン＝バーバリーからヴィヴィアン W、ステラ M の地球に優しいファッションまで」	講義	10
「現代ファッションにおいて最も重要なキーワード＝“サステナブル”について」	講義	11
「日本・東京＝欧米経由で国際的になった日本ブランド 1970 年から現代まで」	講義	12
「アメリカ・NY＝ブルックス・ブラザーズからラルフ ローレン、マーク J、マイケル K まで」	講義	13
「パリ・ヴァンドーム広場のハイジュエラー」	講義	14

【評価方法】

出席率・遅刻率、授業への積極的な参加（挙手、質疑応答など）、課題の提出・内容から総合的に判断する。

主要教材図書 毎回の講義にはパワーポイントによる資料をモニターで提示。

参考図書 講義で取り上げたブランドの公式ホームページ。

その他資料 wwdjapan.com

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション誌編集者・ジャーナリストとして、常に最先端のラグジュアリーブランドに触れている経験を生かし、スピーディに変化してゆくブランドの動向を的確に捉え、解説する。また、現代とこれからのファッション業界で外せないキーワード「サステナブル」についても、随時、触れながら、時間のあるかぎり詳細を伝えていくように心がける

記載者氏名 関谷麻美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF2	科 名	帽子デザイン科 2年		1 単位
	GG2		ジュエリーデザイン科 2年	授業期間	前期
	GH2		バッグデザイン科 2年		
	GI2		シューズデザイン科 2年		
科目コード		科目名	英会話		

担当教員(代表)： 原田千尋	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>基礎的な文法の確認、英語圏の文化に根ざした会話力の強化、ファッション関連の語彙や表現の習得を図りながら、発話を通して英語運用力の向上を目指す。</p> <p>将来、英語を駆使してファッション業界でグローバルに活躍するための基礎固めをする授業。</p>

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
英会話を学ぶ意義 : 授業概要説明	講義・演習	1
英語で「現在」を語る : 現在形 ・ 聞き返し方 ・ ファッションアイテム	講義・演習	1
英語で「過去」を語る : 過去形 ・ 質問の仕方と答え方 ・ 色、柄	講義・演習	1
英語で「経験」を語る : 現在完了形 ・ 体調の答え方 ・ 素材、生地	講義・演習	1
英語で「未来」を語る : 未来の表し方 ・ ショッピングの会話	講義・演習	1
英語で「好きなこと」を語る : 動名詞 ・ 同意を表す言い方 ・ ファッションスタイル	講義・演習	1
英語で「得意なこと」を語る : 助動詞 ・ 数字の言い方 ・ 体顔各部の名称	講義・演習	1
英語で人助けをする : 前置詞、接続詞・道案内の言い方 ・ 工程、用具	講義・演習	1
英語で自分をアピールする : 比較級、最上級・英語の就職面接	講義・演習	1
映画で学ぶ英会話	講義・演習	1
映画で学ぶ英会話	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 準備	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 発表	講義・演習	1

<p>【評価方法】</p> <p>S`C・F 評価</p> <p>評価基準：学業評価（小テスト得点、課題・プレゼンテーション評価）50%、 授業姿勢（出席率、授業内活動参加状況）50%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>オリジナル教材（担当教員作成プリント「今日の授業 1. 覚えておきたい英文法 2. 便利な会話表現」）</p>
<p>参考図書</p> <p>Essential English for Fashion Students Bunka Fashion College、「Fashion x English おしゃれ英語図鑑」DHC、 English Phrases for Fashion Students Bunka Fashion College</p>
<p>その他資料</p> <p>「ラジオ英会話」「ラジオビジネス英語」NHK 出版、「好感を持たれる英語表現」クロスメディア・ランゲージ、 「SAKURACO's こなれ英語 LESSON」ベレ出版、「世界一わかりやすい英会話の授業」KADOKAWA、 Forward Mode:English for Fashion Students 南雲堂、DVD The Intern Warner Bros. Entertainment Inc.</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>学生同士の会話やプレゼンテーションなどの実践により英語運用力の向上を目指す楽しい授業。 担当講師はムーミンの原作者と文通経験のあるムーミンの大ファン。英語教授法修士課程修了、1987 年から英語教育に携わり、2014 年から文化服装学院で非常勤講師として英会話を担当。</p>

記載者氏名 原田千尋

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科 名	バッグb デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	980020	科目名	特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：菊池 明子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般のトレンド情報、またグッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事、特殊技法やその活用方法などを学び、多方面にわたる講師による講義や実習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◆ 金属アレルギーについて	講義	1コマ	講師：鈴木 久子
◆ 流行色・トレンド解説	講義	2コマ	講師：小木曾 珠希
◆ 皮革のメンテナンス	講義	1コマ	講師：静 孝一郎
◆ 横山氏のブランド立ち上げから、今	講義	1コマ	講師：横山 英也
◆ issey miyake の世界	講義	1コマ	講師：宮前 義之
◆ FUMIE=TANAKA のクリエイション	講義	1コマ	講師：田中 文江
◆ コンピュータニットについて	講義	1コマ	講師：土井 健太郎
◆ 商品の品質管理	講義	1コマ	講師：未定
◆ グッズデザイナーの仕事について	講義	1コマ	講師：未定
◆ パールジュエリーについて	講義	2コマ	講師：森永 のり子
◆ 金属プレスによるアクセサリパーツの制作現場	講義・実習	1コマ	講師：椎名 直之

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	1 単位
科目コード	945020	科目名	インターンシップⅡ	授業期間	通年（自由選択）

担当教員（代表）： 菊池 明子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

就業体験を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、希望する業種、職種と合致しているかを確認し、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

○研修先、期間

ジュエリー、アクセサリ業界の企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

○研修内容

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 履修認定：P表示 評価基準：出欠、研修報告書

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：宝飾業界・アクセサリ業界の様々な職種の就業体験

記載者氏名 菊池 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GG2	科 名	ジュエリーデザイン科 2年	単 位	4単位
科目コード		科目名	卒業研究・創作	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

卒業制作発表展示に向けて表現力、創作力を高め、また企画、運営する能力を養うことを目標とする。

2年間の集大成として、各自が研究テーマを設定し、3点以上のシリーズで作品をデザインし創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学び、帽子デザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科と共に展示、発表する。

【授業計画】

マイ・コレクション

<13×2コマ>+2月28コマ

各個人がテーマ設定し、デザイン、制作

1人 3点以上

プランニング段階からポートフォリオも共に作成する

過去に学んだ全ての技法を駆使し完成へと導くコンセプトメイキング

<ジュエリーデザインⅡと連動>

- ・実用性
- ・着装性
- ・アート性
- ・自己表現の探求

テーマ・コンセプトメイキングからの展開

- ・資料収集
- ・アイデアスケッチ
- ・デザイン展開
- ・素材収集・開発・研究
- ・技法の確認・研究
- ・作業工程確認
- ・図面(実寸)作成
- ・制作実習

<ジュエリー制作実技Ⅱと連動>

展示 (各自のテーマに合わせたプランニング)

- ・展示プラン
- ・スケッチ
- ・素材収集
- ・展示台の作成

展示会の企画・運営

帽子デザイン科、バッグデザイン科、シューズデザイン科と共に企画・運営

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

ジュエリー制作における金属加工技術の習得

本校を卒業した教員が担当

記載者氏名 大工原 睦